

# 地震災害を防ぐために

## あなたは地震災害を知っていますか？

大阪府では、南海トラフ巨大地震および直下型地震を対象とした地震被害想定を公表しています。

### 震度と揺れの状況

**震度 7**

**耐震性が高い** **耐震性が低い**

- 木造で耐震性の低い建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。
- 木造で耐震性の高い建物でも、まれに傾くことがある。
- 鉄筋コンクリート造で耐震性の低い建物では、倒れるものが多い。

**震度 6強**

- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- 木造で耐震性の低い建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 大きな地割れが生じることがある。

**震度 6弱**

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。
- ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 木造で耐震性の低い建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

### 過去の大地震との比較

	発生年	30年以内の発生確率	最大震度
上町断層帯地震		2~3%	6弱~6強
南海トラフ巨大地震		<b>70~80%</b>	6弱
阪神淡路大震災	平成7年	0.4~0.8%	7
熊本地震	平成28年	0~0.9%	7

約100倍!



熊本地震

※南海トラフ巨大地震はいつ起こってもおかしくないので災害の備えを万全に!

### 松原市での被害想定<sup>※1</sup>

松原市の人口約12万人(令和2年3月現在)

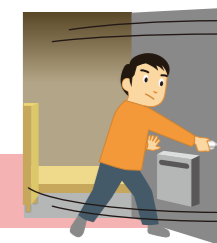
	建物被害		死者数 <sup>※2</sup>	負傷者数 <sup>※2</sup>	避難所生活者数 <sup>※2</sup>
	全壊棟数	半壊棟数			
上町断層帯地震	10,200棟	9,200棟	150人	1,400人	17,700人
南海トラフ巨大地震	299棟	3,379棟	14人	516人	1,895人

※1 大阪府被害想定結果より算定 ※2 建物被害より算定

# 地震災害を防ぐために

## 地震が起きたとき、とるべき行動

地震発生時は、あわてずに、まず身の安全を確保しましょう。



## 家の中の安全対策

### 家の中の安全対策 チェックシート

- 寝室に背の高い家具を置いていない。
- 玄関や出入口までの通路に家具など倒れやすいものを置いていない。
- 窓や戸棚のガラスに飛散防止フィルムを貼っている。
- 背の高いダンス、冷蔵庫などを転倒防止器具で固定している。
- テレビをできるだけ低い位置に置き、粘着マットで固定している。